

演じて知る。～客観的な視点からの学び～ R5.1.31

ホールで2回の劇あそび。背景の設定を子ども達が話し合いながら決めていました。木や草の一つひとつが子ども達の意欲へ繋がっています。



あっちにおこうよ!

きもちよさそうなおふとんだな～



いれて!  
いいよ!



客席側から見るのと自分達の視点からだと見え方が違い、この日はめろん組さんが見に来てくれて見えづらいことを教えてくれました。どうしたら見えるようになるか知恵を出し合います。



この日はお休みが多くて少なかった、おふとんグループ。見に来ていためろん組さんが一緒に楽しみやり取りや動きなど見せてくれました。声の大きさだけでなくお友達の動きを見たり合わせて楽しむ姿はさすがだな～と感じました。

お客さんとして見てもらいアドバイスをもらうことでも良い経験になり、一緒に演じて実際に見て学べる機会になった劇あそびでした。それぞれのグループが感じたことをクラスみんなで共有していきながらより楽しく劇あそびができるようにしていきたいと思います。